音 楽 科

奥本絢子・近藤知美・松前良昌

【中学卒業時のめざす生徒像】

一人一人が自分の思いや意図を深め，音楽で表現することができる生徒
＝より豊かに表現しようとすることに関心があり，意欲的に活動する
＝作品に込められた作詩・作曲者の思いをくみ取り，自分なりに解釈している
＝より豊かに表現するための音楽的技能を身につけている
＝音楽的技能をどう活かすかを自ら考え，判断し，表現に活かしている

本校音楽科では，昨年度，一人一人が自分の思いや意図を深め，音楽で表現することができる生徒の育成をめざし，歌唱の題材を取り上げて実践的研究を行った。その結果，以下の２点を改めて認識することができた。

・発問や助言の内容，そのタイミングや抽象度などには，発達段階に応じて違いがあること。
・自分の思いや意図を演奏に生かすための音楽的技能を始めとする手段を，児童生徒に身に付けさせることの重要性。

昨年度の研究を基に，今年度も表現領域の研究を継続する。

低学年から音楽活動を重視し，活動を通して，自分の思いや意図を演奏に表す方法を一つ一つ身に付けさせることが重要であると考えている。学年が進むにつれて，身に付けた表現方法を選択し活用できる児童を育てるために，指導者が適切な場面で適切な支援を行うことができるようにしたい。音楽的技能などを曲のどの部分でどのように利用するかを自ら判断し，表現に生かすことができるようにしていきたい。効果的に音楽的技能などが向上する指導法の開発を試み，その有効性について研究していきたい。

【授業仮説】

Ⅰ期前期（小学校１～２年生）

Ⅰ期前期の児童は，音楽に合わせて体を揺らしたり，身の回りの音に興味をもって鳴らしたりして生活の様々な場面で音楽に親しんでいる。そこで，自分の体や身の回りの音，楽器などを使って音遊びを楽しんだり，音遊びで体験したことをもとに，簡単な音楽をつくる活動を積み重ねたりすることによって，「音楽づくり」のための基盤を養い，思いをもって表現することができるのではないかと考える。

Ⅰ期後期（小学校３～４年生）

Ⅰ期後期の児童は，いろいろな音の響きやその組み合わせを楽しみ，様々な発想をもって即興的に表現しようとしている。そこで，音楽の始め方や終わり方を意識したり，言葉をリズムにのせて反復したり組み合わせたりする活動をすることによって，自分の思いや意図をもって表現の工夫をすることができるのではないかと考える。

Ⅱ期（小学校５～中学１年生）

Ⅱ期の児童は，これまでの音楽経験で得た音楽表現など，いろいろな音楽表現から発想を得て，即興的に表現しようとしている。そこで，互いの表現を聴き合いながら，選んだ音階を用いて旋律をつくったり，リズムパターンを重ねたりする活動をすることによって，見通しをもってよりよい表現の工夫をすることができるのではないかと考える。

Ⅲ期（中学校２～３年生）

Ⅲ期の生徒は，楽曲の理解を深め，曲想を活かした表現を考えることが出来るようになってくる時期である。そのため，歌唱指導においては，歌詞の意味や内容，曲想，音楽を形づくっている要素を根拠として，身につけた音楽的技能を作品のどの部分でどう利用するかを自ら思考･判断しながら，自分の思いや意図を聴き手に伝えるような豊かな表現ができるようしたいと考える。

Ⅰ期，Ⅱ期，Ⅲ期それぞれにおいて，以上の仮説に基づく授業を行うことで，中学校卒業時には思考力・判断力・表現力のような高次の学力をもとに「一人一人が自分の思いや意図を音楽で表現することができる生徒」になるのではないか。

【本年度の研究計画】

目的

Ⅰ期

音楽的な約束事を決めた音遊びやそれをもとにして簡単な音楽をつくる活動を積み重ねていくことで，「音楽づくり」のための基盤を養い，思いをもって表現することができるのではないかという授業仮説を検証する。

Ⅱ期

音楽を特徴付けている要素に気付き，音楽の仕組みを選んだり組み合わせたりする活動に取り組むことで，自分の思いや意図を明確にし，表現を工夫することができるのではないかという授業仮説を検証する。

Ⅲ期

歌唱の授業において，比喩的表現を用いた指導が，正確な音程の感覚や楽曲に適した発声法などの音楽的技能を高めるのではないかという授業仮説を検証する。

方法

Ⅰ期

題材名「リズムであそぼう」

友達とかかわりながら，リズムをつくったりリズムパターンを組み合わせを工夫したりして，リズムの音楽をつくる。

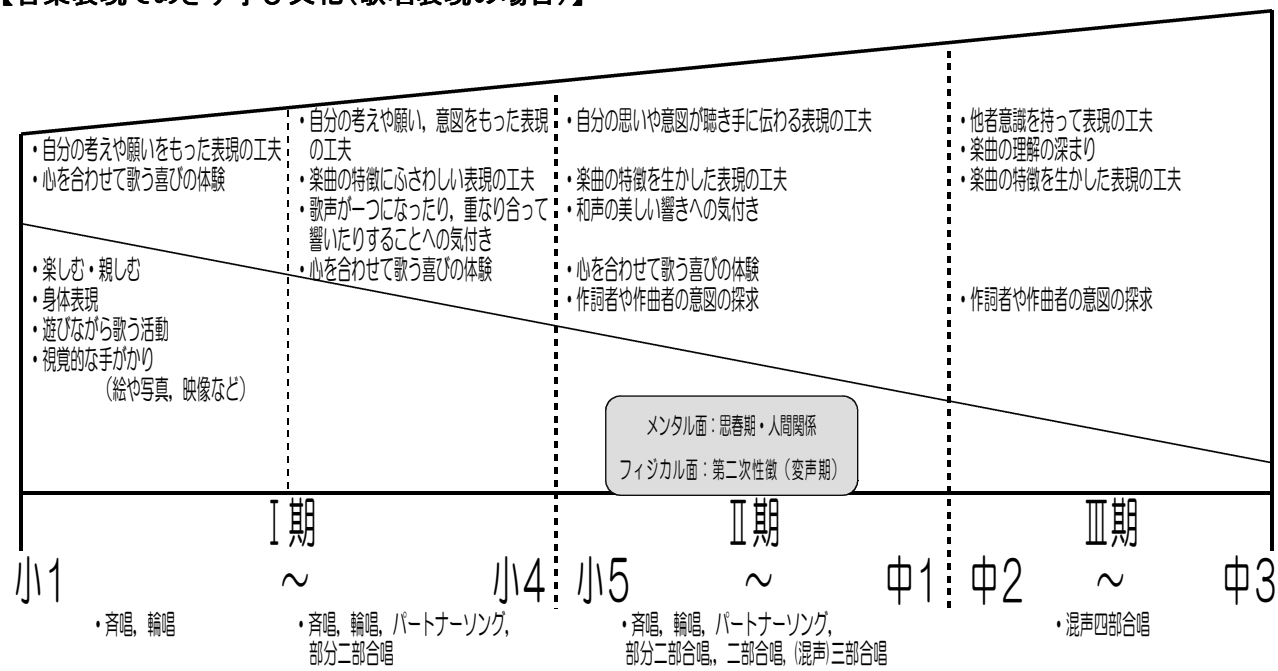
Ⅱ期

題材名「アンサンブルを楽しもう」

リズムパターンを組み合わせたり，リズムの特徴に合った音色を選択したりして，自分の思いや意図をアンサンブルで表現する。

Ⅲ期

題材名「合唱表現を工夫しよう」

歌唱指導において，比喩的表現を用いて指導することにより，効果的に音楽的技能を高め，その技能をもとに，楽曲に対する自分の思いや意図を豊かに表現させる。

【音楽表現でめざす学び文化（歌唱表現の場合）】